

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	水難救助訓練にて、スバリ検索実施時における事例。
3. 体験した事例の中心的要素	河川にて水難救助訓練中、スバリ検索を実施していた。スバリを河川へ投げ入れたところ、要救助者（人形）に引っかかり水面近くまで引揚げた。この時、1人で艇体の中に引揚げきれず、他の隊員にスバリを引いてもらいながらも1名が要救助者（人形）に手をかけた。水面から出る瞬間に要救助者（人形）の洋服に引っかかっていたスバリがはずれ要救助者（人形）に手をかけた隊員にスバリが刺さりそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	水中では浮力により軽く感じる物も大気中では、重く感じるために発生したと考える。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 18 年 8 月 2 日 午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：河川
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	切り・こすれ、その他：突き刺さる。
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（通常時の訓練）]
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：人命検索
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[25]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[7] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[32]歳、 勤続年数[11]年、 現場経験年数[11]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	スバリ検索実施。	
経過 2	当事者 A	要救助者（ダミー）に引っかかる。	
経過 3	当事者 A	水面近くまで引揚げる。	
経過 4	当事者 B	当事者 A に変わりスバリを引く。	
経過 5	当事者 B	力を入れ保持をする。	
経過 6	当事者 A	要救助者（人形）に手をかけ引揚げる。	
経過 7	当事者 B	スバリが要救助（人形）から外れる	力が入ったまま。
経過 8	当事者 A	スバリが腕に刺さりそうになる。	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。たまたま、負傷事故にならなかった。その他：スバリが艇体に引っかかり艇体内までスバリが入らなかった。

- ### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

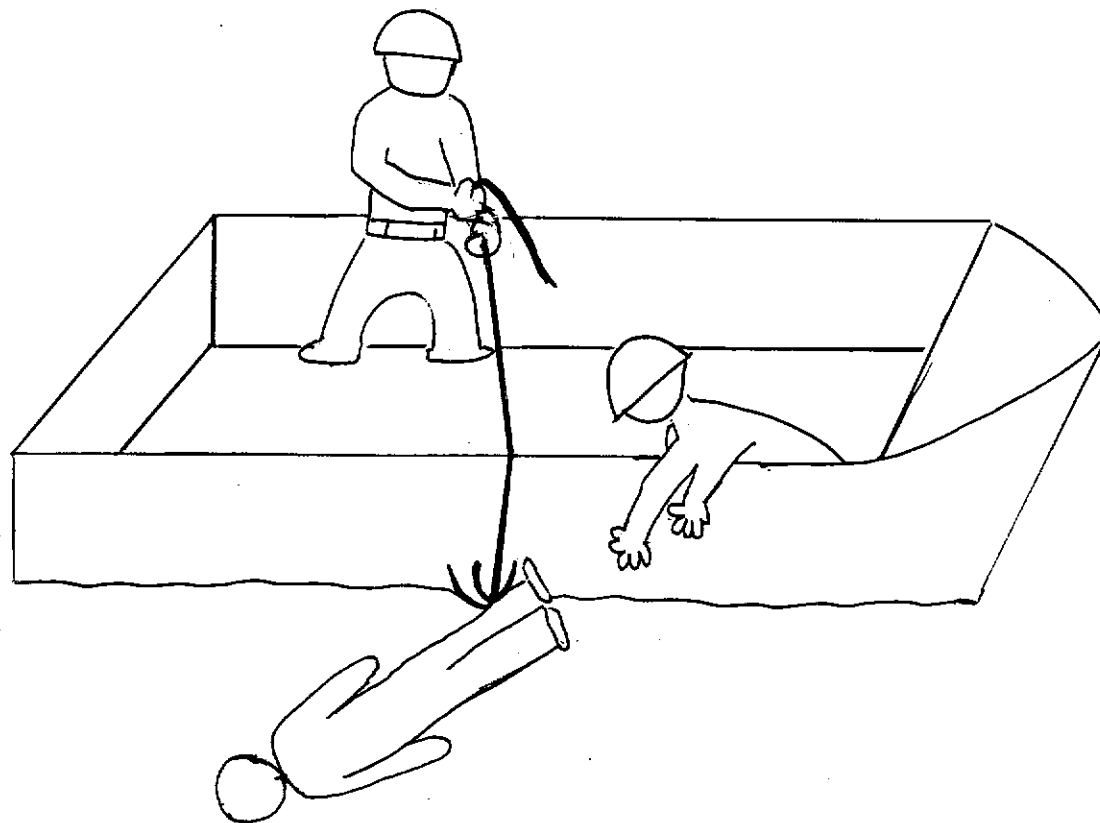
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ



・発生日時：平成18年8月2日 午前11時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		機関員／消防士 ・年齢 25 歳 ・勤続 7 年 ・現場 7 年 ・同様の活動：1年に数度	隊員／消防副士長 ・年齢 32 歳 ・勤続 11 年 ・現場 11 年 ・同様の活動：1年に数度	
河川にて水難救助訓練中 スバリ検索実施。河川へ投げ入れる ↓ 要救助者(ダミー)に引っかかる。 ↓ 水面近くまで引揚げげる。 ↓ 1人で艇体の中に引揚げきれず。 ↓ 当事者Aに代わりスバリを引く。 ↓ 力を入れ保持をする。 ↓ 要救助者(人形)に手をかけ引揚げ る。 ↓ 水面から出る瞬間に要救助者(人形) の洋服に引っかかっていたスバリが はずれる。 ↓ スバリが腕に刺さりそうになる。 力は入ったまま。				

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：行動の意思決定に問題があった。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
 - ・たまたま、負傷事故にならなかった。
 - ・スバリが艇体に引っかかり艇体内までスバリが入らなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- (活動環境について)
- ・狭隘な場所であった。
 - ・暑かった(寒かった)。
 - ・足元が躓いたり滑りやすかった。